

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 大証ヘラクレス)
問合せ先 取締役業務本部長 秋本 淳
(TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

PSS による特定食物アレルギーの迅速・簡易な定量法の開発が NEDO「SBIR 技術革新事業」に採択される

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社(PSS)は、このほど、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO、村田成二 理事長:神奈川県川崎市)より、NEDOが募集した「SBIR (Small Business Innovation Research) 技術革新事業」委託において、PSSの調査研究提案が採択されたのと通知を受けました。委託期間は、平成 21 年 5 月までの約 7 ヶ月間で、PSSでは研究開発本部メンバーを中心にしたプロジェクト・チームで取り組みます。

PSSによる提案は「特定食物アレルギー迅速・簡易定量システム構築に関する調査研究」で、食品会社が自主管理に使用できる迅速・簡易定量システムの確立を目指し、文献調査、学会聴講などによって特定食物アレルギー(アレルギー誘発物質)解析の現状を調査するものです。また、食品試料の前処理調製法を含め、食品に関わる現場のニーズを把握した上で、システムの原理試作機を製作し、市場性のあるアレルギー定量システムの構築について検証を行います。

食物アレルギー患者の増加に伴い、特定原材料 5 品目(卵、乳、そば、小麦、落花生)の表示制度が平成 14 年から本格的に開始され、さらに特定原材料に準じた 20 品目も表示が推奨されています。このような状況の下、公的機関や指定検査機関では、表示監視目的として種々の検知法が実施されていますが、食品事業者が食品工場等で、自主管理に利用できる安価・迅速・簡易な方法が普及していないのが実情です。このため、PSSでは、これまでに蓄積してきた自動化、抽出(Magtration®)、検出(BIST™)等の技術をこの分野に応用することで、食品事業者が比較的容易に導入できる、安価、迅速及び簡易な特定食物アレルギーの定量システムを早期に実用化できるものと期待しております。

(ご参照:NEDO ホームページ)

<http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/index2.html>

以 上